

西光寺だより

第十一号 平成二十三年七月一日発行

七月、今年も暑い夏がやってまいりました。毎年必ず訪れるこの暑さは、子供の頃ただがむしやりに遊んだ頃のこととも思い出させてくれるような気がします。

外での遊びが少なくなつたといわれる現代でも、子供たちが網や虫かごを持って元気に川や公園に行く姿が見受けられ、夏休みを前にしたワクワク感がこちらにまで伝わってきそうです。

空は青く、緑は濃く、自然を体いっぱい感じられるのは夏ならではの過ごし方でしょうね。燦々と照りつける太陽の中、水の気持ち良さを感じられること、くつきりと影をつくる木の下で吹き抜ける風の涼しさを感じられること。夕立ちの雨の激しさは、大人になつたわたくしたちにも自然のエネルギーを見せてくれるようです。

八月にはお盆がありますが、お線香の香りとともになぜかしらいつも懐かしい思い出を連れてやって来てくれるように感じます。

それは、もしかしたらご先祖様より続いてきたいのちの思い出もとも感じられているのかもしれないね。西光寺においても前年に続き、盂蘭盆会法要をいたします。夏をからだいっぱい感じ、生かされているこのいのちのエネルギーを感じ、生かされているいのちに感謝し、ともにお念仏いたしましょう。



◆八月の行事◆

八月十五日（月） 午後六時より

盂蘭盆会法要（仏説阿弥陀経）

西光寺本堂

法要の際お焼香を準備しています。
どなたでもご自由にお参り下さい。

●今月のことば●

「前に生まれん者は後を導き、
後に生まれん者は前を訪え。」

「前に生まれた者は後に生きる人を導き、後の世に生きる人は先人の生きた道を問いたずねよ」というこの呼びかけは、中国の道綽禪師が著した『安樂集』の言葉です。

この世で先に生まれられた者は、その人生を通して後の人々を真実の救いの道に導く義務があります。後の者は、その姿を通して、人生の苦しみや悲しみ、はかなさという現実生きて下さる、仏様の救いに出会っていきます。

そして先に往生された方は、阿弥陀様のお慈悲により私達を真実の救いに目覚めさせ、後の者は先に往生された方を仏様と頂戴させていただく中に、手を合わせ頭を垂れて、その導きに訪ねていくのです。

亡き人は、そのいのち全てをかけて、老病死の現実を私たちに知らしめて下さいました。その道はそのまま私が往く道でもありません。

老い・病・死を抱えながらにして、なお最後まで人間として人間らしく生き抜く力強い積極的な人生は、仏法に出会って初めて恵まれる喜びといただきたいものです。



あしがき

冒頭でも述べておりますが、前年より始めさせていただいております。孟蘭盆会法要を今年も行います。

おかげさまで昨年は、西光寺において初めての法要にもかかわらず、多くの皆様にご参拝いただきました。暑い中、西光寺に足を運んでいただき、皆様でお勤めできましたことを大変嬉しく思いました。

孟蘭盆会法要は、どなた様でもお参りしていただけます。ご門徒様はもとよりご家族様、お子様も一緒に参りください。お盆は、お里帰りされているご家族みなさまでお参りいただける良い機会でもあると思います。

浄土真宗の仏事は、追善回向ではありません。阿弥陀如来のお慈悲を仰いで、私たちが念仏をよるこぶ人となることにお盆の意義があります。それがひいては先祖のご恩に報いることにもなります。

ご先祖様より繋がってきたいのち、その尊いつながりを感じながらお念仏いたしましょう。

合掌

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七七一

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>